

ORANGE NEWS

Vol.009 2025 SPRING

Total.174

ものづくりINTERVIEW

新製品 「イージーロックユニット」と コレット課の新境地

WORK&SOUL

加藤精工株式会社様

information

MEX金沢 2025出展

2025年度入社式／社内さんぽ

北陸ものづくりの旅
噂の図書館と、
その界隈を彩る寺院&酒蔵に潜む
モノづくりのヒントを見る。

[表紙photo]

ロケーション／石川県立図書館

4階まで貫く円形の吹き抜けが心地よく、
360°を本に囲まれながら飲食も可能。
仙田満さんの設計と図書館での新しい
過ごし方が話題を呼んでいる。

[モデル] 福井 聖菜

TAKAMAZ

高松機械工業広報誌 2025年春号



部品事業部 コレット課 課長
西田 和行

新製品 「イージーロックユニット」と コレット課の新境地

今回のINTERVIEWでは、コレットの段替え作業時間を短縮できるTAKAMAZの新製品「イージーロックユニット」の開発背景と特徴に加えて、21名の少数精鋭で運営されるコレット工場の独自性や現在進められている変革について、コレット課の西田課長に語っていただきました。標準コレットの品揃えの豊富さと特殊オーダーへの対応力を強みとするTAKAMAZ。その強みを背景とする新たな事業展開にも注目です。

この4月に新製品「イージーロックユニット」が販売開始となりました。その開発を手掛けるに至った背景についてお聞かせください。

西田 (部品事業部 コレット課 課長)

ある自動車メーカーでは、コレットのネジを外さずに交換できないかといった

具体的な要求が以前から挙がっています。そうした中でワンタッチチャックは、段取り時間を短くするという事でニーズに応えるものです。業界の話題としては十数年前からそのような話があり、あまり公にはしていませんでしたがTAKAMAZでもワンタッチ式ものはユーザ仕様として対応していました。これを正式に製品化し、さらにこのワンタッチ式という仕様を既存の機械にも適用できるようにしたのが新製品「イージーロックユニット」です。4月から正式に販売を開始したのですが、販売開始前からすでにご予約をいただいております。このことから、市場のニーズは高いと感じています。

最近、コレット工場内の様子が変わっているように感じますが。



西田

はい、昨年度にコレット工場のレイアウトを大きく変えました。工場見学されている方はご存知だと思いますが、2階から見下ろせる構造の工場なんです。そのため、平成3年の竣工当初は、工場見学をする方が上から見たときに、キレイに見えるよう配置することを第一に考えていましたが、これを生産性重視の方向にシフトしました。床を這っていた配線や配管を上配置して台車を移動させる動線を改善しました。さらに仕掛け品を1箇所集約させ、高さも共通に揃えることで見える化させました。人が行き来する動線も詳細に解析し、レイアウトを変えることで作業効率を高めることに取り組んだことも大きな成果です。それだけでも年間で何百分もの時間短縮に繋がります。加えて、自分たちで意見を出し合っ、この状態がベストだと自信を持って言える

環境にしたことは、働く人の意識や姿勢にも良い変化をもたらしています。

コレット課はTAKAMAZの中でも独自性が強い部署だと認知されているようですね。

西田

コレット課は、工作機械事業本部には属することなく、部品事業部として独立しています。受注も営業部とは異なるルートとなっていますし、協力企業様への発注依頼も独自で行います。受注から出荷までのあらゆる業務が独立しているんです。コレット工場は完全に自分たちコレット課だけの建屋になっていることもあり、別会社に近い独自性があるのだと思います。だからこそ21名という少数精鋭でまとまりながら一種独特な雰囲気を持っていると社内的にも感じられているようです。多くのお客様と接する機会がある展示会でも、TAKAMAZのブースの中で独自の存在感を放っていると思います。

コレット課がメカ横断的に活躍できるチームであることも大きいですね。工作機械メーカーとしてコレットチャックの専用部門を置いているのは、私が知る限り、国内ではTAKAMAZだけです。たとえばただワークを渡されて、そのワークに合うコレットを求められた場合でもTAKAMAZであれば対応できるんですね。それが大きな強みだと思っていますし、だからこそ継続してお付き合いいただけている会社も少なくないと自負しています。

付け加えるなら、そもそも標準コレットとして完備している数が圧倒的に多い上、さらに特殊オーダーにも対応しています。カタログに掲載されている数字だけ見ても他社とは圧倒的に違うと思います。この辺りにもコレット課のあるTAKAMAZの特長が表れていると思います。そこからさらに特殊オーダーへと広がるわけですが、すでに特殊オーダーは7割を占めるに至っています。1年に1回はお客様が「うわぁ～」と驚きの声を出すような特殊な形状のコレットを作るまでの技術を持ち合わせています。小さい頃から機械いじりが大好きな者たちが集まって、いまプロフェッショナルとしてコレットに携わっているからこそできる仕事だと思います。



2023年夏に発刊したORANGE NEWS Vol.002では、「コレットの再研磨」取材させていただきました。こうした新たな取り組みは今も続いているのでしょうか？

西田

「コレットの再研磨」も随分と定着してきて、おかげさまでたくさんのご依頼が増

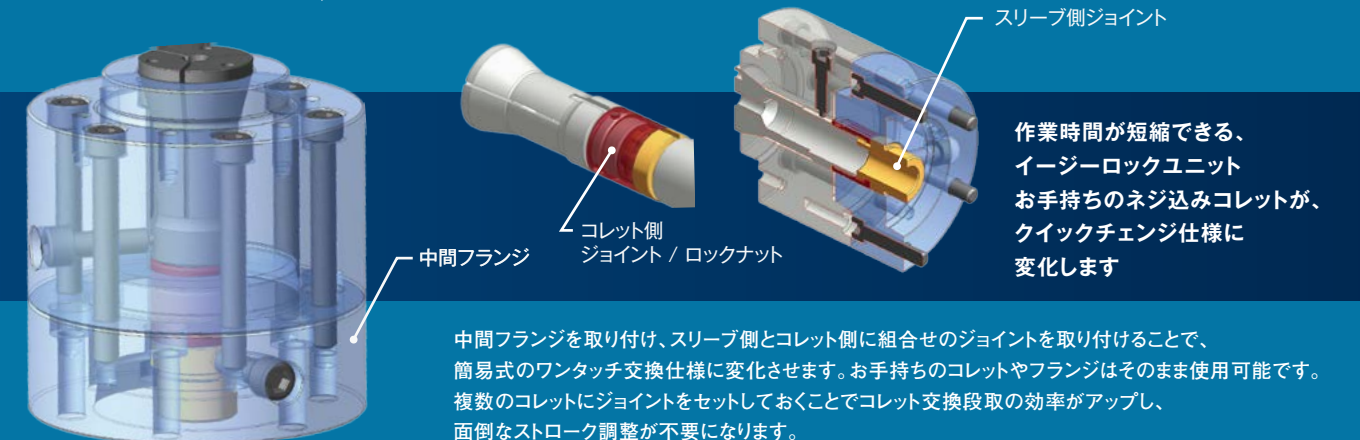
えていて、一定のお客様からは毎月依頼されるようになっています。再研磨の限界点があることもお伝えしていますので、限界点を迎えたところで新しいモノを発注いただけるというスムーズなサイクルができました。

最近はホームページなどから、TAKAMAZの機械ではないけれど、治具のコレット部分を制作して欲しいという依頼が舞い込むようにもなりました。次に予定している打合せも、TAKAMAZの機械を一度も使用したことがないお客様です。そういった全く新規のお客様からも依頼が来ており、意外とこうしたニーズは多いのではないかと社内で話をしているところです。トラックに機械を積み込んでキャラバン隊としてユーザを訪問するというプロモーションに、昨年度初めて同行したのですが、そこで我々がコレットチャックでこのような取り組みをしていることを知っていただき、その場で相談を受け、立て続けに依頼が来たという経験もしています。これはTAKAMAZの機械だからこそできることでありますし、工作機械という枠に捉われない、新しい事業の可能性も感じています。

TAKAMAZという組織の中でも自主独立の道を歩むコレット課。少数精鋭の専門集団がまた新たな分野でお客様に貢献できる未来に期待したいと思います。まずは次の展示会で新製品「イージーロックユニット」を見て・触れて・体験していただければ幸いです。

コレットの段替えをもっとイージーに。

イージーロックユニット



中間フランジを取り付け、スリーブ側とコレット側に組合せのジョイントを取り付けることで、簡易式のワンタッチ交換仕様に変化させます。お手持ちのコレットやフランジはそのまま使用可能です。複数のコレットにジョイントをセットしておくことでコレット交換段取の効率がアップし、面倒なストローク調整が不要になります。

加藤精工株式会社 様



豊田工場 工場長
川西 勲 様



代表取締役社長
加藤 聡人 様



カタチあるモノも、カタチないコトも。

進むべきビジョンは明確に、次なる一手を打ちながら、地域貢献や社会課題の解決とも真摯に向き合う。

【加藤精工株式会社】

KATO SEIKO Co., Ltd.

愛知県刈谷市半城土町生出104番地12
TEL.0566-23-2312 FAX.0566-23-2315

代表者／加藤 聡人
資本金／5,000万円
従業員数／222名(2024年8月31日現在)
設立／1960年4月1日
事業内容／自動車部品、鉄道部品、住宅関連部品の提案・製造



HP

愛知県刈谷市。加藤精工株式会社の真新しい本社工場を訪ねた第一印象は、カジュアルでスマート。お話を伺った加藤社長から受けたイメージとも重なり、とても新鮮なWORK&SOULのインタビューとなりました。

まずは御社の沿革からお聞かせ下さい。

【加藤社長】 創業は1954年で、私の祖父が自分で加工した自動車部品をバイクに積んで納品していたという話を聞いています。会社としては、有限会社加藤鉄工所という名前で法人化したのがスタートで、それが1960年のことになります。刈谷市に本社を置いて、1967年に岐阜工場、1989年に豊田工場を完成させました。直近の動きとしては、新社屋が完成し2024年1月に本社が移転しました。そして同年3月にプラスチックの成型用の金型を作る株式会社ヤマダ精工を子会社化し、今に至るというのが当社の大まかな沿革です。

御社のモノづくりにおける想いやこだわりは、どんなところにありますか？

【加藤社長】 やはり高品質というところは重要視しています。ただし、高品質でありながら、コストとのバランスを見極めることが最も重要だと感じています。お客様からいただいた図面に忠実に作っていく中で、我々の持つ豊富な知識・工法をお客様へ提案しながら、よりコミュニケーションを密にして開発を進めていくことにこだわっています。「最も適したものをお客様と一緒に作り上げていく」というのが、当社の開発スタンスですね。

「カタチあるモノも、カタチないコトも。」という御社のキャッチコピーも目を引きます。

【加藤社長】 たしかにそれも我々がこだわっているところですね。加藤精工は60年以上にわたって部品を作ることで社会に貢献してきましたが、社会に求められる会社のカタチは随分と変わってきました。我々はモノを作ってお客様から対価を得るというだけのビジネスではなく、社会課題に真剣に向き合っており、その課題を解決していくことで存在意義

を示していくことを目指したい。それがこの地域に必要な会社だと考えています。会社は永続することを第一の目標としているという視点からも、社会に必要とされ続ける会社になることは重要です。モノづくりをベースにしながら、雇用を維持することや地域の学校の研究に協力するといった地域貢献にもしっかりと取り組んでいきますというメッセージがこの言葉には込められています。

御社では充実した計測機器類を揃えている印象を持ちました。これはどのような意図があったのでしょうか？

【加藤社長】 我々の規模と我々が作っている製品にとってはかなり充実した測定環境になってると思います。私がこの会社に入ってまずはじめに取り組んだのがそこへの投資でした。とにかく分析などはすべて社内ですべて完結できる体制にし、お客様へのレスポンスの速度を早めて、開発サイクルをスピードアップしたかったというのが理由です。これから、この充実した測定環境をさらに活かす

べく、当社製品以外の測定も行う「測定サービス」のような新事業を立ち上げてはどうかと考えているところです。

御社の強みや競争優位性はどのような方向に向かうのでしょうか？

【加藤社長】 我々は自動車に使われるシートやドアのハンドル、ジョイント部分など、いわゆるボディパーツと呼ばれるものをメインに製造しています。そこで培われた当社の技術力の高さは、お客様からも評価いただいていると思います。ただし自動車を製造する中で、これらの部品にはなかなかコストをかけてもらえないのも事実です。

EV化や自動運転技術に関するセンサーや人工知能、電池といったところに開発コストがかけられるため、そうなること必然的に弊社が手掛けているところは、極力コストを抑えようとする領域になってしまいます。コストに対する課題が大きくなる一方、技術面で貢献する機会は少なくなっているというのが、業界全体の流れです。

そこで今後は樹脂加工にも取り組んでいきたいと思い、冒頭でお話した樹脂成型をする会社であるヤマダ精工を子会社化しました。樹脂は自動車を軽量化させるために必要な素材です。一部ですが、既に自動車の部品も鉄から樹脂に置き換わっています。今後、我々の納めている製品が樹脂に代わったとしても、変わらず提供できるように、現在体制を整えているところです。

とは言え、鉄の部品がすぐに無くなるということはありませんので、切削の無駄を限りなく少なくし、生産性を高める努力は地道に取り組み続けていきます。そしてそこはTAKAMAZの機械にも関係するところだと思います。

TAKAMAZの話題が出たところで、弊社の機械を導入いただけている理由をお聞かせいただけますか？

【加藤社長】 まず大きなトラブルが起きていないことですね。その上で、我々がやりたいことと設備のサイズ感、そして価格とのバランスが一番良いです。

ラインナップが多くあるので、適した製品を選びやすいことも導入理由の一つです。

【川西工場長】 現場的には、汎用性の高さに優れていると感じます。段取り替えなどについても教育しやすいこと、またメインのコレットさえあれば、あらゆる製品が削れることも、多能工化という点で適しています。加えて、1988年に導入した設備でも最新の設備でも共通で使える部品があり、互換性の面でも重宝しています。新旧どちらの設備も今なお使用でき、色々な製品が作れるところが良いと思っています。

デザイン会社も手掛けられる加藤社長から感じた「情報を整理する」姿勢。軽快に、そして理路整然と語られる想いやビジョンはわかりやすく、かつ納得度の高いものばかり。TAKAMAZとの関係性もより深化させていきたいとの想いを抱かせていただきました。

事前登録必須

第61回 機械工業見本市

MACHINERY & ELECTRONICS EXHIBITION in KANAZAWA

MEX

金沢2025

MEX 金沢会場、ご入場には事前登録が必要です。

事前
来場登録は
こちら



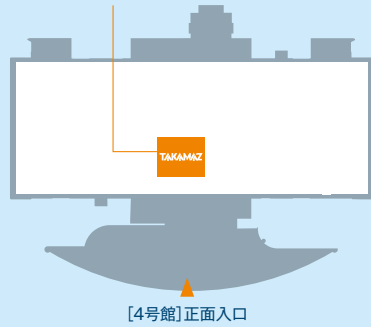
5.15(木) - 17(土)

10:00-17:00 | 最終日17日(土)は
16:00まで

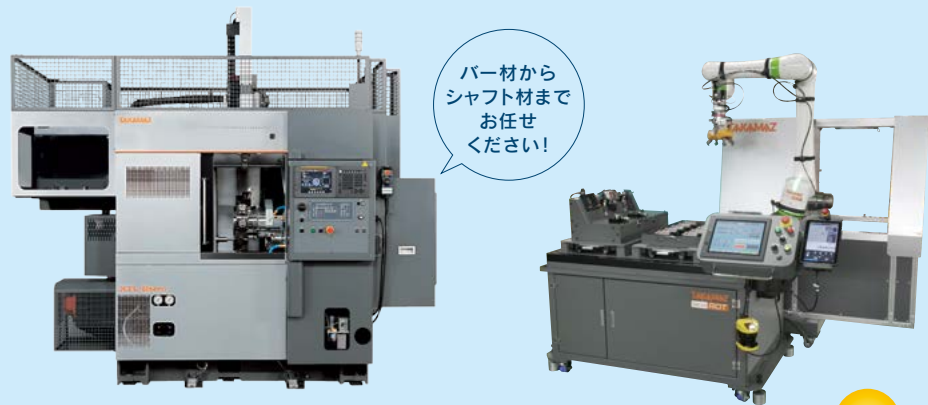
石川県産業展示館 [4号館] **入場無料**

石川県金沢市袋島町南193
TEL(076)268-1121
主催／一般社団法人 石川県鉄工機電協会
<https://tekkokiden.jp/mex>

TAKAMAZ 4-18
展示ブースナンバー



[4号館] 正面入口



8インチCNC複合精密旋盤

XTL-8MYS

NEW



回転工具(M)、Y軸、サブスピンドル搭載

- 最大加工長はMax404mm。高剛性角スライドとφ100mm主軸を組み合わせ、シャフトワークに対応します。
- 回転工具ユニットは、高出力モータAC5.5kWを搭載。Maxφ20mmのミールリング能力を保持し、ワンランク上の加工を実現します。
- 省エネルギーレベル選択機能やアイドルストップ機能により、機械稼働時だけでなく、段替作業時も消費電力を削減します。

チャックサイズ	8 インチ
最大加工長	404 mm
最大棒材径	φ 51 mm
回転工具能力	φ 20, M16 mm

稼ぐロボットシステム

ServoROT-X1

世界初!

コレットチャック&ツール自動交換!
安全フェンス不要のFANUC CRXシリーズ(協働ロボット)を搭載し。安全かつ安心の供給システムが構築できます。さらにコレットチャックとツール交換も可能となりました。

※最大可搬能力20kg
※12インチ操作パネル採用

CNC2スピンドル
精密旋盤

XWG-3

小物量産加工に最適な
エコマシン!



チャックサイズ	コレット or 3、4 インチ
主軸回転速度	Max. 8,000 min
刃物台形状	くし型
主軸モータ	AC 5.5/3.7 kW

CNC精密旋盤

XTS-6

差動チャック
搭載

6インチチャッククラスの主力
[XTS-6]に四角などの異形ワークを確実に把握し、均一な加工精度を実現する【差動チャック】を搭載しました。

チャックサイズ	6 inch
主軸回転速度	Max.5,000 min-1
主軸モータ	AC 7.5/5.5 kW

プログラミングお助けツール

T-program Guide



必要項目を画面の順に入力するだけで簡単にプログラム作成を行います。

Easy-lock Unit

お手持ちのねじ込み式コレットがクイックチェンジ仕様に早変わり!

NEW



NEW

CNC2スピンドル精密旋盤
XWT-8

8インチ、
サポートセンタ搭載(Opt.)

2スピンドルの高い生産性をベースにCN対策を兼ね備えた量産加工機です。大型タッチパネルの採用で操作性が大幅に向上。新たなローダシステム搭載で早送り速度も全軸向上。独自の熱変位補正システムで省エネルギーにも貢献します。

チャックサイズ	8 インチ × 2
最大加工径	φ 280 mm
工具サイズ	□25、φ 40 mm



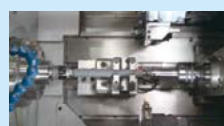
NEW

シャフト両端工程集約機
XYT-51

回転工具(M)、Y軸搭載

高い剛性と複合加工の機能を備えた両端加工機です。バランスカットによる高精度、高効率生産を実現します。

両端加工ワーク対応長さ	300 mm
最大加工長	440 mm
刃物台形状	12角 × 2
回転工具能力	φ 13, M12 mm



シャフト
両端加工なら、
この1台で
完結!

information

Congratulations on joining us!



TOPIC1

2025年度入社式の開催

4月1日、本社にて2025年度入社式が行われ、新たに11名の新入社員を迎え入れることとなりました。会長と社長からの式辞を真剣な眼差しで聴き入る姿はまぶしい限りです。

「いまは大きな転換期とも言える時代。自動車業界を取り巻く環境も歴史的な変化の波にさらされています。むしろこの変化の時代を良い時代と捉え、自ら変化できる・変化する社員になってもらいたい」(会長式辞より)

「今年はTAKAMAZの中期経営計画を発表する年でもあります。計画通りに我が社が成長するためにも、伸び代の大きい皆さんの成長に期待します」(社長式辞より)

初々しくも真摯な姿勢で式を終えた新入社員一同。今後の活躍を期待するばかりです。

新入社員の皆さん
好きなコト、モノ教えてください!!



TOPIC2

ORANGE NEWS アンケートご協力のお願い

いつもORANGE NEWSをご愛読いただきありがとうございます。

本誌について皆様のご意見をお聞かせください。

抽選で5名様に、SAKE SHOP 福光屋がセレクトしたミニボトル6本 飲み比べセットをプレゼントいたします。【アンケート締切日】5月30日(金)

応募はコチラ



「加賀鷹」「黒帯」「風よ水よ人よ」「福正宗」など福光屋の人気銘柄が揃った飲み比べ6点セットが当たります。

社内さんぽ

Shanai Sanpo

関東支店 サービス業務担当 小暮 東紗

Pick up

工業高校出身ながら、一度は鎌倉でイタリアンの料理人を志したことも。紆余曲折を経て、2018年11月にTAKAMAZに入社し、今は関東支店のサービス業務担当として日々の仕事に邁進している。

✓ こだわりの仕事道具は六角レンチ。長さやヘッド部分が異なる5種類を持ち歩き、機械の修理やメンテナンスをそつなくこなす。

✓ 関東支店のある埼玉県はラグビーが盛んな土地柄。かくいう彼も中高とラグビー部に所属し身体を鍛えた一人である。

✓ 最近ゴルフを始めた彼。2年前に上司から譲り受けたゴルフセットを片手に週2回の練習場通いが今の日課となっている。



北陸ものづくりの旅

— CRAFT CONSCIOUS —

噂の図書館と、その界隈を彩る寺院&酒蔵に潜むモノづくりのヒントを見る。

仙田満さんの設計した建物が反響を呼んで、多くの人が足を運ぶ石川県立図書館。その影響で、金沢でありながらこれまで静かだった石引・小立野界隈が、にわかに注目を集めています。今回の「ものづくりの旅」は、石川県立図書館とその界隈をデザイン目線で訪ねてみました。



石川県立図書館

本の頁をめくる際の期待感をイメージしてデザインされた外観。100万冊を超える蔵書と、4階まで貫く円形の吹き抜け空間など、建築が話題となって多くの人で賑わう図書館です。



天徳院

壮大さと優美さを兼ね備え、珠姫の菩提寺として知られる天徳院。堂内に飾られた姫たちの着物や調度品や回廊で結ばれた鎮守堂など、見どころも豊富です。



SAKE SHOP 福光屋 金沢店

「純米酒のある日常」をテーマに福光屋の純米酒全ブランドをはじめ、厳選した酒器や地元の酒肴などを取り揃える酒蔵の直営店。予約をすれば「酒肴体験」も堪能できます。



2022年にできた石川県立図書館、通称「百万石ビブリオバウム」。その洗練された建物は、図書館本来の機能を超えて、多くの人を魅了しています。道路を挟んだ向かいには金沢美術工芸大学が佇み、この界隈はまさに知的でクリエイティブなエリアへと進化しました。

そのエリアの一角にある天徳院は、かつて4万坪の敷地を有し、いまでも荘厳な佇まいをこの地に残しています。十六羅漢を描いた見事な絵がぐるりと配された

本堂、ミステリアスな鎮守堂など、独特ながらも高い美意識で作り込まれた世界観に惹きつけられます。御朱印に金箔を貼る体験なども楽しめます。

天徳院から歩いて5分の場所には酒蔵の直営店「SAKE SHOP 福光屋 金沢店」。福光屋の美味しいお酒が並んでいます。酒造りと同じようにデザインの現場でも職人魂が受け継がれている福光屋。アーティストとのコラボレーションによるラベルなど、デザインに惹かれて日本酒を手にするきっかけにもなりそうです。

TAKAMAZ
高松機械工業株式会社

詳しい情報はこちらから ▶
<https://www.takamaz.co.jp>



本 社 ・ 工 場	〒924-8558 石川県白山市旭丘1-8 サービス受付専用ダイヤル 部品受付専用ダイヤル	TEL (076) 207-6155	FAX (076) 274-1418
あ さ ひ 工 場	〒924-0004 石川県白山市旭丘4-13	TEL (076) 274-1400	FAX (076) 274-1454
第 2 工 場	〒924-0004 石川県白山市旭丘2-18	TEL (076) 274-1407	FAX (076) 274-1454
第 3 工 場	〒924-0004 石川県白山市旭丘2-18	TEL (076) 274-0123	FAX (076) 274-8530
第 4 工 場	〒924-0004 石川県白山市旭丘1-7	TEL (076) 274-1443	FAX (076) 274-3170
開 発 セ ン タ ー	〒924-0838 石川県白山市八束郷3-3	TEL (076) 274-1448	FAX (076) 274-1446
関 東 支 店	〒360-0042 埼玉県熊谷市本町2丁目48番地(ユニバース熊谷ビル1F)	TEL (076) 274-2515	FAX (076) 274-2516
大 阪 支 店	〒532-0004 大阪府大阪市淀川区西宮原1-5-28(新大阪テラス第3ビル2F)	TEL (076) 274-1442	FAX (076) 274-1345
名 古 屋 支 店	〒460-0016 愛知県名古屋市中区橋2-1-12(橋AKビル2F)	TEL (048) 521-8771	FAX (048) 520-2189
浜 松 営 業 所	〒430-0929 静岡県浜松市中央区中央3-15-1(EKビル6-D)	TEL (06) 6395-3252	FAX (06) 6398-2430
厚 木 営 業 所	〒243-0018 神奈川県厚木市中町3丁目9番地15号(厚木JCビル101号室)	TEL (052) 332-6801	FAX (052) 332-6303
東 北 営 業 所	〒981-1217 宮城県名取市美田園5丁目4-1(アルモニービル101号室)	TEL (053) 456-2530	FAX (053) 456-2531
北信越営業所(北陸)	〒924-0004 石川県白山市旭丘4-13	TEL (046) 240-9820	FAX (046) 240-9424
北信越営業所(信越)	〒955-0092 新潟県三条市須賀2丁目13番地(パークハイツ須賀1階102号室)	TEL (022) 784-1882	FAX (022) 784-1883
広 島 営 業 所	〒732-0827 広島県広島市南区福衛町1番1号(ロイヤルタワー8F)	TEL (076) 274-1405	FAX (076) 274-8530
海 外 拠 点 /	アメリカ(シカゴ) ドイツ(ヒルデン) 中国(杭州) タイ(バンコク) インドネシア(タンブン プカシ) メキシコ(レオン) ベトナム(ホーチミン)	TEL (0256) 36-5560	FAX (0256) 36-5567
		TEL (082) 568-7885	FAX (082) 568-7886

※このニュースに対するご要望・お問い合わせは編集委員会まで TEL (076) 274-1408 FAX (076) 274-8530